

Jミルクが2021年1月29日に公表した「需給見通し(※2020年11月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。  
 「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

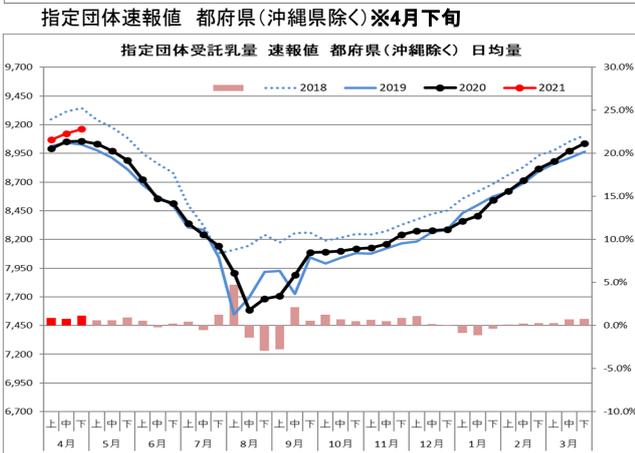
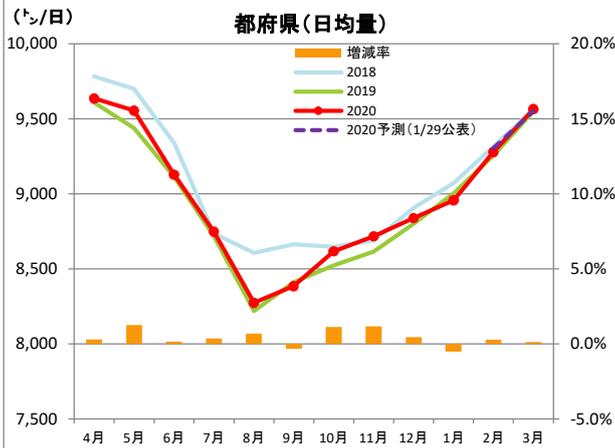
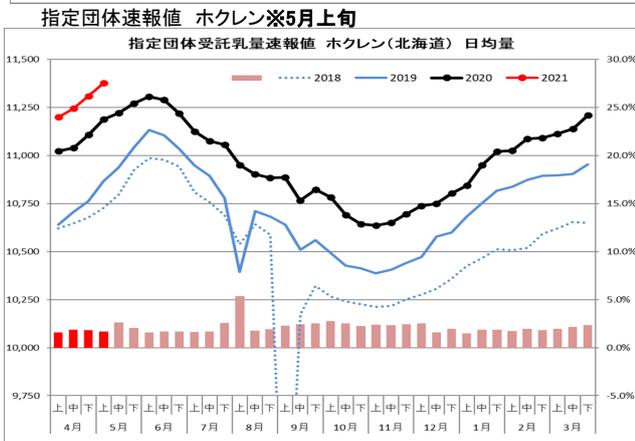
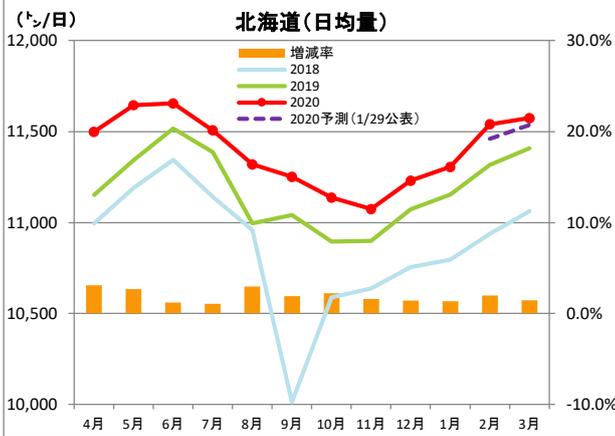
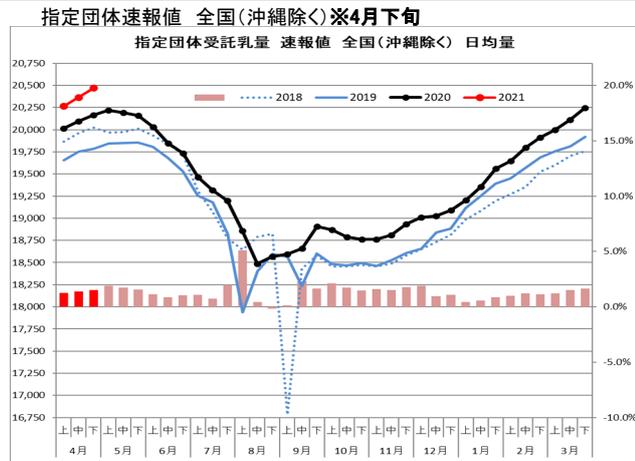
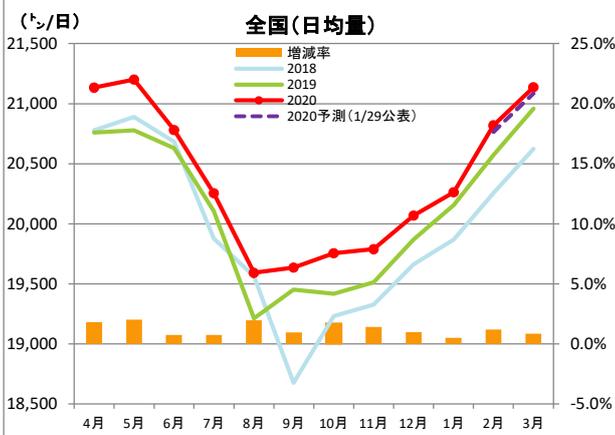
発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《今後の消費動向は不透明～北海道の生乳生産量はピークへ～》

- ・3月の需給実績について、生乳生産は北海道・都府県ともに前年を上回って堅調に推移した。一方、飲用需要については、牛乳の家庭内消費が予測をやや上回ったことや、前年は学乳供給が停止していたことの影響もあって、全体では前年同期を大きく上回った。なお、脱脂粉乳・バターの在庫量は予測を下回ったものの、引き続き高水準で推移している。
- ・また、4月の牛乳販売動向については、インテージSRI+4月実績(前年比90.0%)を勘案すると、Jミルク予測(前年比95.6%)を下振れして推移している可能性が高い。
- ・直近(5/3週)の牛乳類の消費については、各品目で前週(4/26週)より販売個数が増加した。ただ、大消費地圏を中心に緊急事態宣言が発令中であるが、前年ほどの家庭内需要の水準となっていないと推察されることから、引き続き販売動向を注視する必要がある。
- ・また、家庭用バターの販売個数については堅調に推移しているが、ヨーグルト類については低調な販売状況が続いている。
- ・全国的に感染拡大が継続する中、今後の消費動向はより不透明な状況になると考えられるが、北海道の生乳生産量がピークとなることから、家庭用を中心に需要拡大に引き続き取り組んでゆく必要がある。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1)3月の生乳生産量は、全国655千ト(前年同月比100.8%)、北海道359千ト(同101.4%)、都府県296千ト(同100.1%)。
- (2)Jミルク予測値(全国:654千ト、北海道:358千ト、都府県296千ト)から北海道は若干上振れして推移している。
- (3)直近の指定団体速報値によると、全国が同101.5%(4月下旬)、北海道が同101.7%(5月上旬)、都府県(沖縄除く)が同101.2%(4月下旬)。



**【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。**

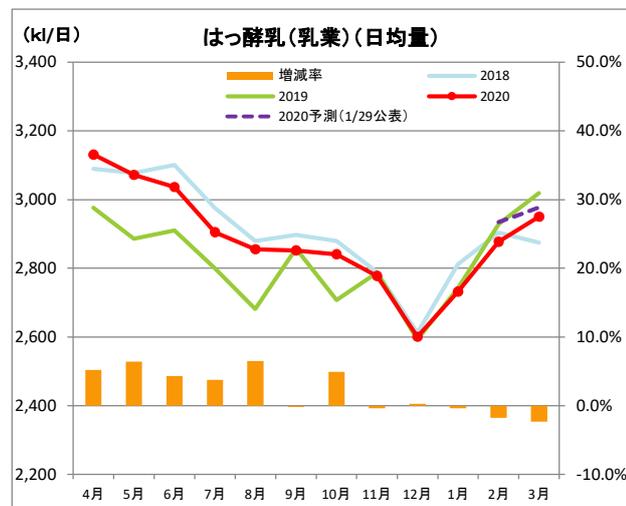
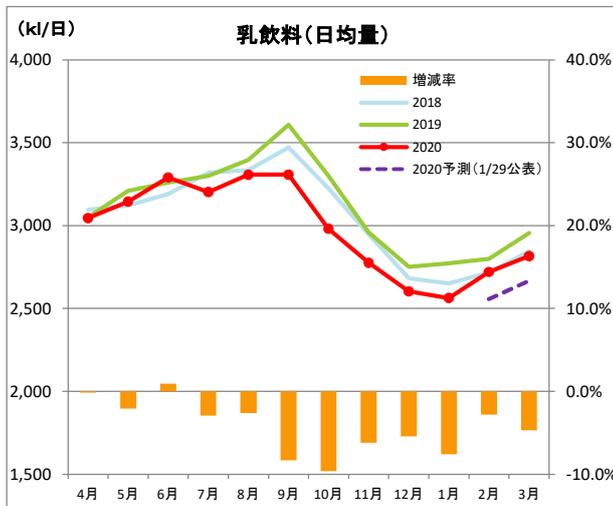
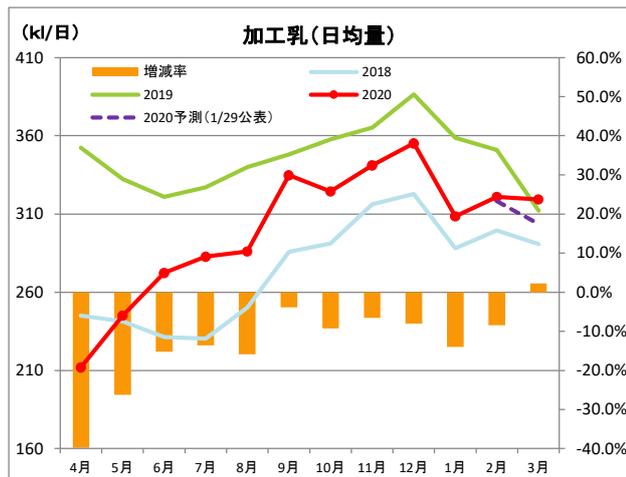
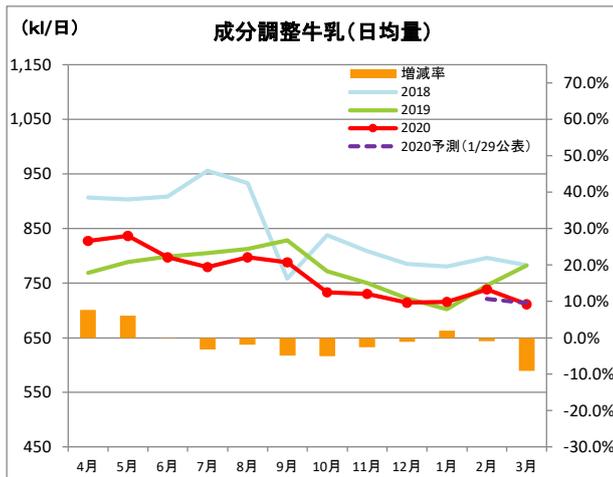
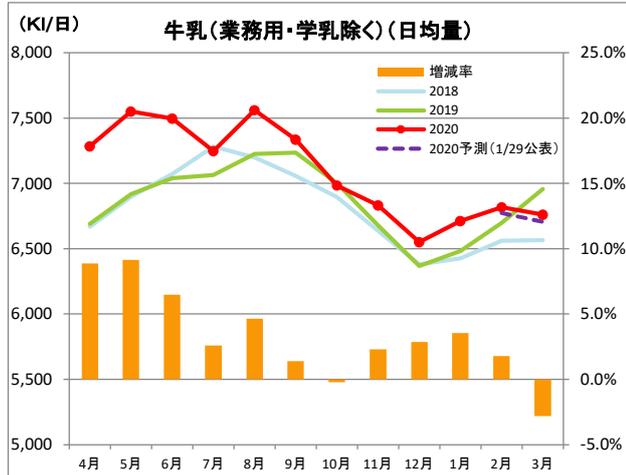
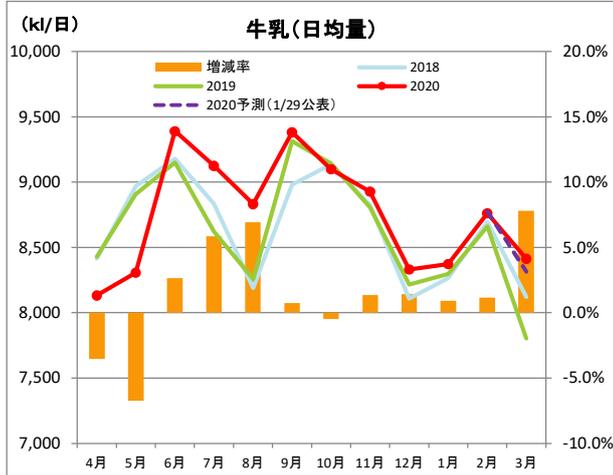
(1) 3月の牛乳等生産量は、牛乳261千kl(前年同月比107.8%)、成分調整牛乳22千kl(同90.9%)、加工乳9千kl(同102.3%)、乳飲料87千kl(同95.3%)となり、牛乳類合計では380千kl(同103.4%)となった。

なお、予測値との比較では、加工乳・乳飲料は上振れで推移している。

(2) 「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同97.2%と前年を下回ったが、「業務用」は同106.5%と前年を上回った。

(3) はっ酵乳(乳業)は91千kl(同97.7%)と前年を下回り、予測値(92kl)からは若干下振れで推移している。

また、非乳業実績(2月)についても、同98.0%と前年を下回って推移している。

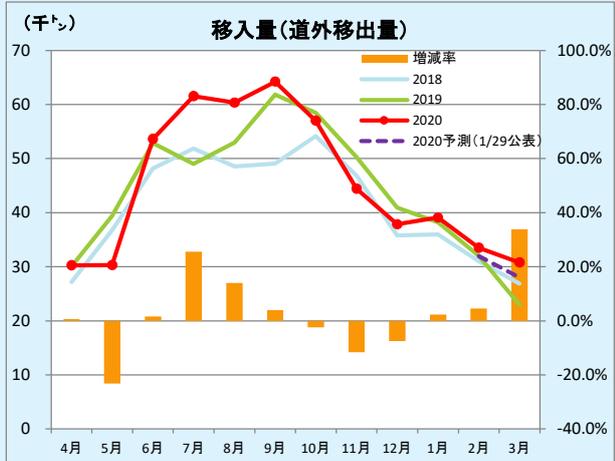
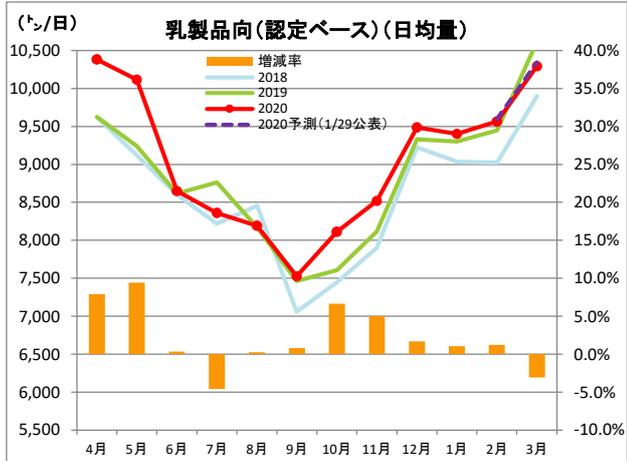
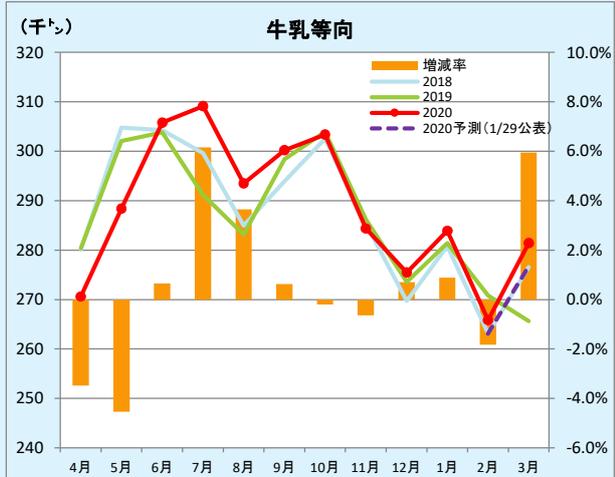
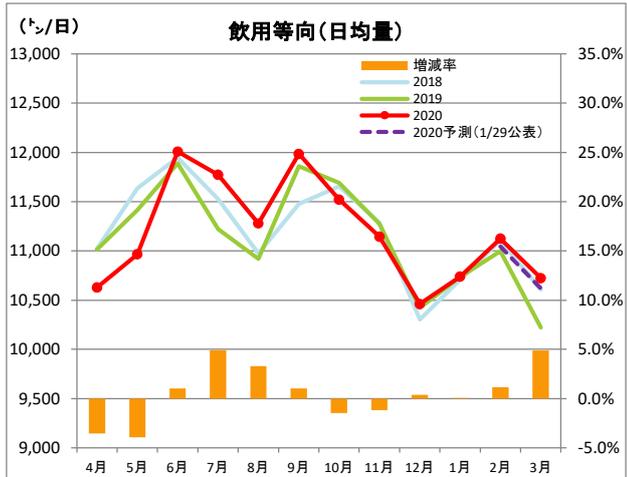
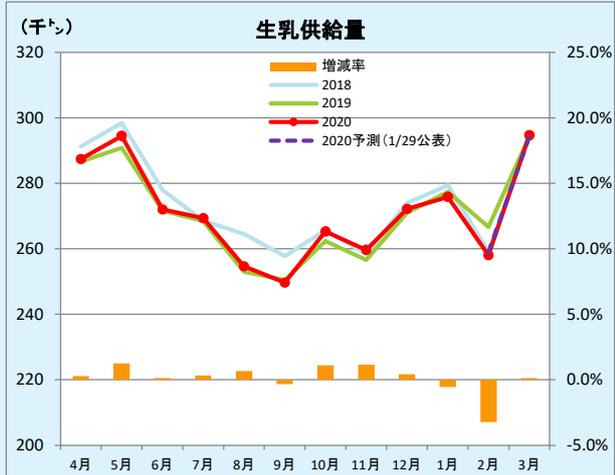
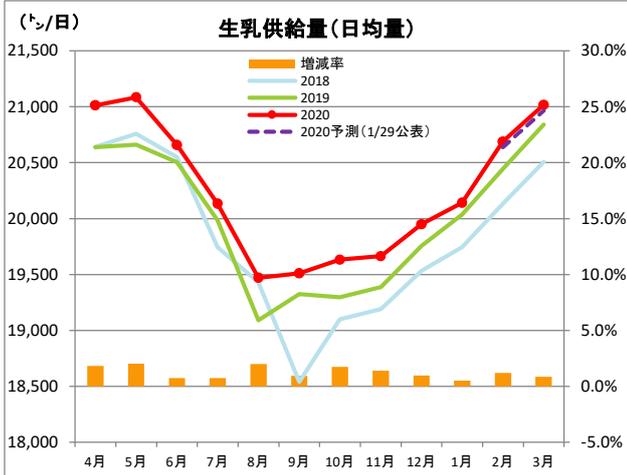


【用途別処理量】※増減率は、日均量で算出。

(1)3月の生乳供給量は652千トン(前年同月比100.9%)、飲用等向332千トン(同104.9%)、乳製品向(認定ベース)319千トン(同96.9%)。  
 (2)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:650千トン)、飲用等向(予測値:329千トン)、乳製品向(予測値:321千トン)ともほぼ同程度で推移している。

【都府県の生乳需給】

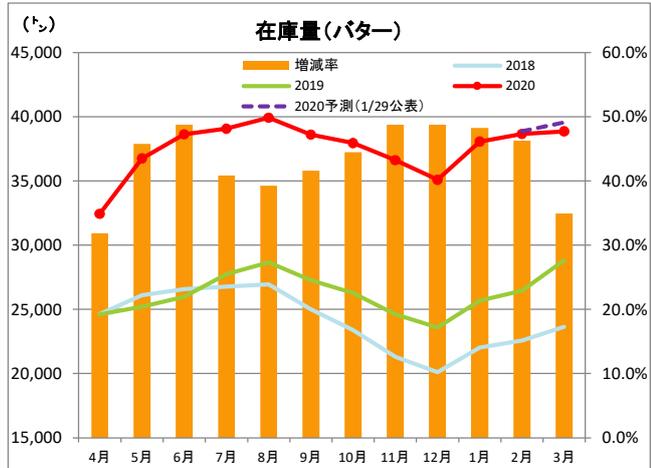
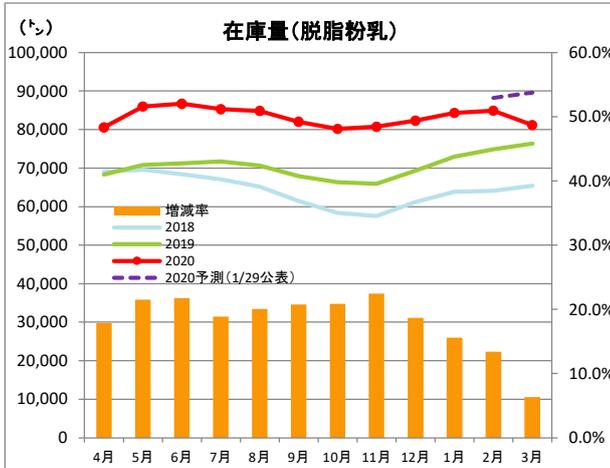
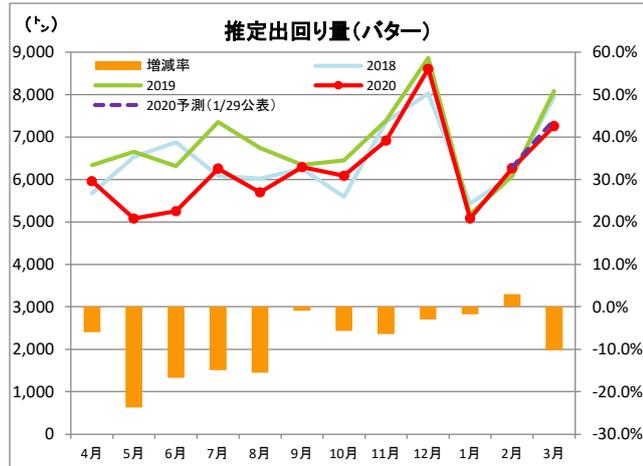
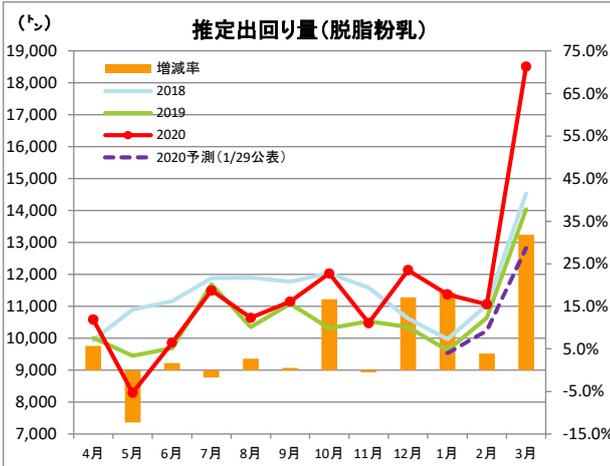
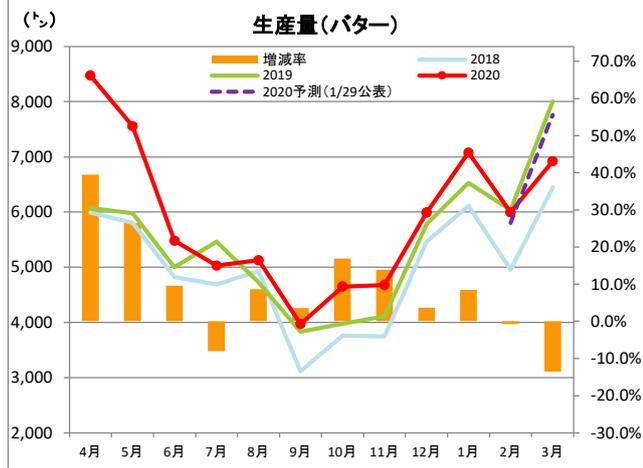
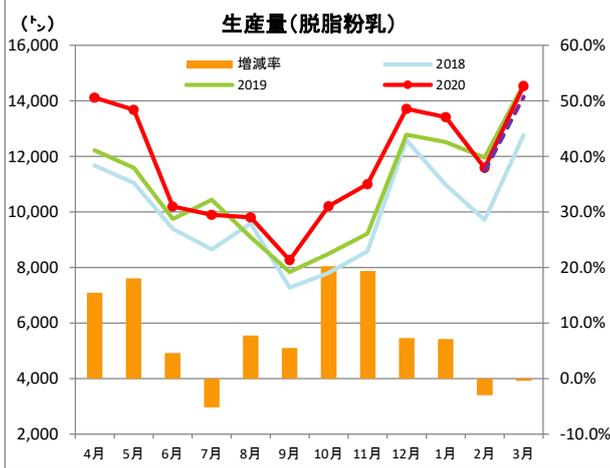
(1)3月は、生乳供給量295千トン(前年同月比100.1%)、牛乳等向281千トン(同105.9%)。  
 (2)北海道からの移入量について、31千トン(同133.9%)と前年を上回った。  
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:294千トン)は同程度、牛乳等向(予測値:283千トン)、北海道からの移入量(予測値:28千トン)は若干上振れで推移している。



【脱脂粉乳・バター之需給】

(1)脱脂粉乳は、3月の生産量は14.5千<sup>ト</sup>(前年同月比99.6%)、推定出回り量は18.5千<sup>ト</sup>(同131.8%)、その結果、在庫量は81.2千<sup>ト</sup>(同106.3%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を上回って推移している。  
 なお、予測値との比較では、推定出回り量(予測値:12.8千<sup>ト</sup>)は大きく上振れして推移している。

(2)バターは、3月の生産量は7.0千<sup>ト</sup>(同86.5%)、推定出回り量は7.3千<sup>ト</sup>(同89.8%)、その結果、在庫量は38.9千<sup>ト</sup>(同134.9%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を上回って推移している。  
 なお、予測値との比較では、推定出回り量(予測値:7.4千<sup>ト</sup>)は同程度で推移している。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)3月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比90.0%、成分調整牛乳:同87.1%、加工乳:同90.1%、乳飲料:同85.2%。

牛乳類では同89.1%

【参考】2019年度比…牛乳:105.5%、成分調整牛乳:93.0%、加工乳:94.5%、乳飲料:94.0%(牛乳類トータル:102.4%)

・販売単価は、牛乳:189.5円、成分調整牛乳:172.8円、加工乳:189.2円、乳飲料:151.0円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(5/3週)の販売個数は、牛乳:前年同期比89.0%、成分調整牛乳:同84.8%、加工乳:同86.2%、乳飲料:同82.7%。

牛乳類トータルでは同87.6%

【参考】2019年度比…牛乳:104.9%、成分調整牛乳:89.7%、加工乳:85.2%、乳飲料:89.9%(牛乳類トータル:100.8%)

・販売単価は、牛乳:188.9円、成分調整牛乳:173.3円、加工乳:188.9円、乳飲料:150.8円。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

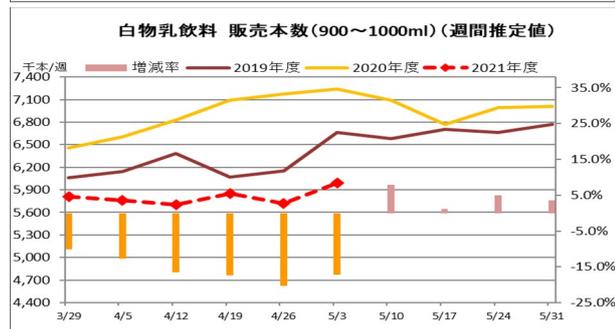
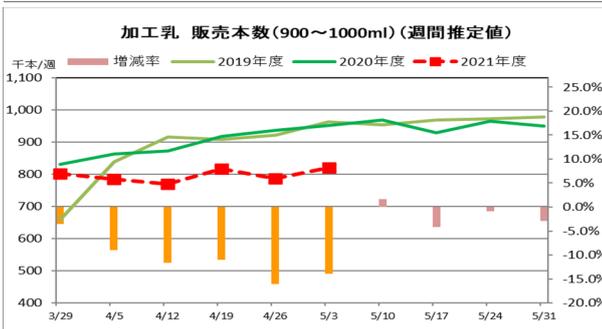
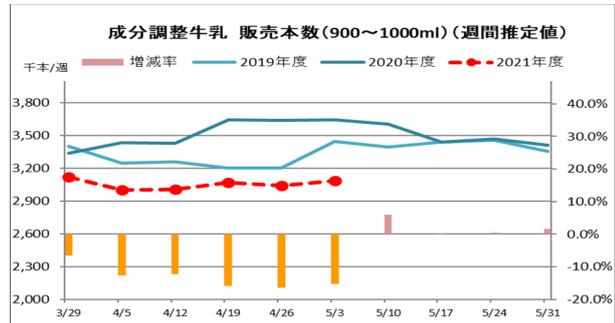
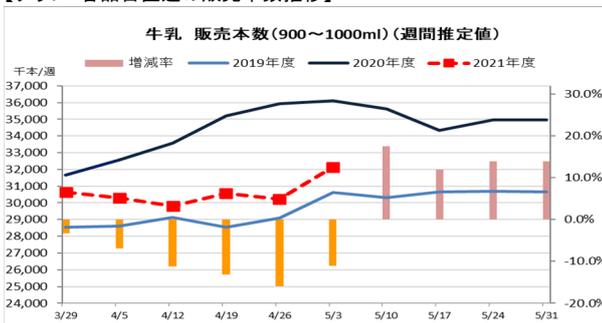
単位:千個、円

品目	区分	2020/11-	2020/12-	2021/1-	2021/2-	2021/2- 隔年修正	2021/3-	2021/4-
		販売個数	169,957	173,977	171,074	157,626		172,484
トータル	販売個数前年比	103.3	104.0	104.7	98.8	102.4	96.1	89.1
	販売単価	182.1	182.3	182.4	182.0		182.2	182.6
牛乳	販売個数	128,122	131,686	129,682	119,005		130,908	129,581
	販売個数前年比	105.0	105.2	106.5	100.3	103.8	97.4	90.0
成分調整牛乳	販売個数	13,004	13,481	12,875	12,064		13,166	13,022
	販売個数前年比	100.8	104.1	102.0	96.0	99.5	93.7	87.1
加工乳	販売個数	3,270	3,297	3,275	3,045		3,393	3,387
	販売個数前年比	92.1	94.5	95.8	93.0	96.4	94.9	90.1
乳飲料	販売個数	25,560	25,513	25,241	23,512		25,018	24,780
	販売個数前年比	98.1	99.1	98.8	94.3	97.7	90.8	85.2
	販売単価	150.1	150.6	150.6	150.3		150.5	151.0

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	3.8-	3.15-	3.22-	3.29-	4.5-	4.12-	4.19-	4.26-	5.3-
		販売個数	38,894	38,648	39,559	40,372	39,853	39,280	40,303	39,779
トータル	販売個数前年比	96.6	98.1	94.2	95.4	91.7	87.9	86.0	83.4	87.6
	販売単価	181.7	182.1	182.6	182.6	182.5	182.6	182.6	182.8	182.3
牛乳	販売個数	29,520	29,280	30,194	30,645	30,307	29,798	30,565	30,232	32,132
	販売個数前年比	98.0	99.2	95.9	96.7	93.1	88.7	86.8	84.1	89.0
成分調整牛乳	販売個数	2,974	2,939	2,982	3,120	3,001	3,008	3,068	3,044	3,088
	販売個数前年比	93.6	95.6	91.1	93.4	87.4	87.7	84.1	83.6	84.8
加工乳	販売個数	758	754	779	801	785	770	816	787	820
	販売個数前年比	94.8	98.0	94.0	96.5	91.1	88.3	89.0	84.0	86.2
乳飲料	販売個数	5,643	5,675	5,604	5,806	5,760	5,704	5,853	5,716	5,988
	販売個数前年比	91.1	93.6	87.5	89.9	87.2	83.6	82.5	79.7	82.7
	販売単価	149.9	150.3	151.2	151.7	150.8	150.8	150.9	151.2	150.8

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



### 【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の週次動向(表③参照)

直近(5/3週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)大容量タイプは前週(4/26週)から販売個数が増加したが、ドリンクタイプはさらに減少した。

【表④ ヨーグルト類の販売動向】

品目	3.8-	3.15-	3.22-	3.29-	4.5-	4.12-	4.19-	4.26-	5.3-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
個食タイプ	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↓	↗
大容量タイプ	→	→	↗	↗	↗	↗	↗	↓	↗

	:前年比90%未満		:前年比105%以上110%未満
	:前年比90%以上100%未満		:前年比110%以上120%未満
	:前年比100%以上105%未満		:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

### 【家計支出の動向】

(1)牛乳乳製品の支出額について、前年同月を下回った。

(2)中食、外食における支出額は前年を上回った。

【参考】2019年度比…牛乳乳製品:107.6%、調理食品(中食):110.1%、外食:72.8%、家庭内食:105.3%

※総務省家計調査(家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)

用途分類	区分	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	閏年修正	3月
		牛乳乳製品	支出金額	3,645	3,300	3,286	3,366	3,223	3,142	3,073	3,311		3,092
	前年同月比	113.7%	107.7%	105.9%	108.4%	102.8%	101.6%	103.5%	104.2%	106.1%	99.4%	103.0%	97.3%
調理食品(中食)	支出金額	10,306	9,996	10,961	11,258	10,423	10,690	10,682	14,440	10,764	10,468		10,991
	前年同月比	102.0%	103.5%	101.2%	102.5%	102.1%	102.3%	103.4%	106.0%	106.9%	103.5%	107.2%	106.5%
外食	支出金額	5,988	8,184	9,429	10,172	9,975	11,025	11,270	10,360	7,992	7,961		9,693
	前年同月比	44.8%	66.8%	74.3%	72.4%	80.1%	95.4%	87.6%	71.7%	60.4%	69.4%	71.9%	104.1%
家庭内食	支出金額	59,844	55,698	54,685	58,887	55,316	54,906	53,456	67,228	52,942	51,400		54,978
	前年同月比	113.6%	108.5%	107.7%	111.0%	104.7%	105.7%	106.7%	106.6%	110.1%	101.5%	105.1%	97.3%

【家畜販売価格動向】

(1)4月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は789千円(前年同期比99.1%)、育成牛価格は453千円(同92.3%)、和牛素牛(去勢)価格は886千円(126.9%)、F1素牛(去勢)価格は416千円(同94.8%)、F1初生(雄)価格は176千円(79.8%)。  
 (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同94.5%、育成牛:同126.7%。また、和牛素牛(去勢):同102.8%、F1素牛(去勢):同102.7%は前年を上回ったが、F1初生(雄):同98.8%と前年を若干下回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

